

いよいよよ雪の季節

除雪体制は万全です



雪に備え、準備万端の除雪車両

シベリア生まれの寒気団が吐き出す冷たい北風に乗って、いよいよ冬将軍がやってきました。十一月十九日に気象台から発表された三カ月予報(十二月、二月)によると、この冬の降雪量は平年並、寒い時期と暖かい時期が交互に現われ、寒暖の変動は大きいだろうとのこと。

市では十二月一日に除雪対策本部を設置し、到来する雪の季節に向け、万全の除雪体制で臨んでいます。

除雪車両

87台が待機

この冬、市が除雪する路線の総延長は四百三十二キロメートル。市道三百七十六キロメートル、歩道二十五キロメートル、私道三十キロメートルという内訳で、前年と比較して三キロメートルの伸びです。

除雪車両は、グレーダーやロータリーなど市所有のものが十三台、民間からの借り上げ車

両が七十四台、全部で八十六台を準備しています。市所有車両の中には、今年から融雪剤散布車も仲間入りしました。スタッドレスタイヤの時代、坂道でのスリップ防止対策に威力を発揮してくれそうです。

道路や歩道に積もった雪を迅速に取り除くこと、わだちの発生を防止・解消すること、スリップを防止することなど、冬道を安全で快適に保つためには対応しなければならぬことがたくさんありますが、各種車両の機動力と併せて、除雪に携わる係員は、除雪区域のパトロールや気象情報の収集など、二十四時間態勢で降雪に備えます。

幹線道路から

順に除雪します

除雪は、国道は国が、県道は県が、市道は市がというように分担して行われます。

市では、雪の降り方や気象情報をもとに、一回の降雪量が十センチ以上と予想される場合に除雪車両を出動させます。

作業は、交通量の多い主要幹線やバス路線、通園・通学路など緊急性の高い道路から順に行きます。普通は午前三時ごろから作業を開始し、通勤・通学などに影響がでないよう、午前七時三十分ごろの終了をめどにし

市長リポート



No.57

本当に良い政治とは

「善政は善教の民を得るに如かず」という言葉があります。これは四書の一つ「孟子」から来ているもので、もともとは天子が民を治めるときに教えとして説いた言葉です。

正しく善い政治は民の心をつかむことはできるが、仁や徳の教えによって民を導く善教の大きさは及ばない、というのがその本来の意味です。これを現代に置き換えると、「良い政治とは良い施策をすることも一つではありますが、本当に良い政治というのは、いろんな情報を市民の皆さんへきちんと流して、市の実情を理解していただき、市政に対してさまざまな意味で興味を持っていただくこと、そしてそういう人を一人でも増やしていくということ」になるかと思っています。

大館を思うたくさんの方の市民の皆さんと一緒に、良い施策を講じていくことが、発展する市政をつくっていくための一番の基本だと考えます。

小畑 元